

松陽の甲子園祝福 県北地区高校OB

首都圏在住有志11人

能代松陽高野球部が11年ぶりに夏の甲子園大会出場を決めたことを祝い、県北地区の高校OB有志11写真Ⅱらが30日、東京都千代田区の飲食店で祝福と激励の会を開いた。

OBグループの東京白神会が発起人となり開催。能代商や能代工、大館鳳鳴、小

坂などの卒業生ら11人が参加した。能代工卒の神馬信一さんの乾杯で会は始まり、同白神会を代表して大館鳳鳴卒の望月久さんが「能代松陽高が新しい歴史をつくるべく、見事甲子園の切符を手にした。ぜひこれからみんなで応援しよう」とあいさつした。

参加者のうち4人が能代商OBで、千葉県君津市の山田正光さんは「甲子園出場は関東能代会のグループLINEで知った。万歳と

思った」、埼玉県吉川市の斉藤敏司さんは「毎日北羽新報を取り寄せて読んでいて、甲子園出場を知った。11年ぶりはすごいこと」と喜んだ。

都内は新型コロナウイルス感染が急拡大しているが、能代商OBで東京都北区の野呂田秀夫さんは「統合して初めてだから、みんなが集まって力を合わせてやろうと思った」と話し、都の感染対策を守りながら短い時間内で甲子園出場をた

たえながら、久しぶりの交流を楽しんでいた。



みんがらういは